

まちこの県政報告



Vol.4

MACHIKO ARICHIKA
PREFECTURAL ASSEMBLY REPORT

高齢者や障がい者の方、子供、地域の方など
みんなが役割を持ち、必要と感じられ、
いきいき働き、遊び、楽しむ“まち”
まちこが目指す“まち”お伝えします！



柳井のまちづくりの課題について
一般質問しました！

発行元/有近まちこ事務所
発行日/2021年1月10日

まちこのDay by Day

地域での活動や調査に奔走し、県の仕事に励み、国にも協力を呼びかけた毎日でした。



安倍晋三前総理大臣と



岸信夫防衛大臣の就任を祝して

山口県議会議員・弁護士 有近 まちこ

経歴/平成25年3月
広島大学法科大学院修了
平成27年12月
最高裁判所司法研修所卒業
弁護士登録、山口県弁護士会入会



ツイッター



インスタグラム



ホームページ



フェイスブック

柳井を元気にしたい！
その思いを抱いて走った
一年八か月

皆さまのお力で県議会議員として送り出しいただいて、一年八か月、山口県、そして柳井市を元気にしたいという想いで走ってまいりました。まだまだ勉強不足ですが、今春には、任期の折り返しを迎えます。市民の皆さまのご支援とご協力に改めて感謝いたします。

さて、昨年は県議会で6月定例会、11月定例会と2回の一般質問の機会をいただきました。

質問項目

- ① 持続可能な公共施設等の整備・マネジメント ※中面に詳細報告
- ② 柳井地域の道路整備の推進 ※中面に詳細報告
- ③ L G B T への理解促進
- ④ まちの賑わいを取り戻す「こちやまぜ」のまちづくり ※中面に詳細報告
- ⑤ 中山間地域対策
- ⑥ 子どもを性犯罪から守るための取り組み



11月定例会にて



柳井市ロードレース大会に皆さんと一緒に参加しました！

これらの質問に対して、村岡知事ははじめ関係部長から前向きで丁寧な答弁を頂きました。

このうち④の「こちやまぜ」のまちづくりについては、積極的な推進を訴えたところ、県においても市町での取り組みを支援頂ける答弁を頂きました。

また、県民サービスの基盤であり、将来にわたって地域の活力を生み出していく①の持続可能な公共施設等の整備・マネジメントについて、強く訴えました。

さらに、②の県道柳井玖珂線の古開作と中馬血間の早期の渋滞緩和及び玖珂インターチェンジまでの将来の高規格化、国道188号「柳井平生バイパス」の早期完成、県道柳井上関線の全線整備などについても強く訴えたところです。

県議会議員として、これらの課題を解決しながら、柳井市を元気にしていく取り組みに、市民の方々と共に携わっていくことができれば幸いですと考えています。

皆さまお一人おひとりの声を行政に伝えることにより、身近な課題も少しずつ解決されていくことを実感しています。今後も、山口県、そして柳井市がもっともっと元気になるように、皆さまの声を聴かせていただき、政策の実現、地域課題の解決に向けしっかりと活動してまいります。



右/西村康稔経済再生担当大臣
左/阿達雅志内閣総理大臣補佐官



和泉洋人内閣総理大臣補佐官と



竹歳誠前内閣官房副長官、
元国土交通事務次官と



北村経夫前参議院外交防衛委員長、
元経済産業大臣政務官と



地元の要望をしっかりと聞いて
関係機関と協議



地域行事で皆さんと会えるのを
楽しみに参加しています。



各地で県政報告ミニ集会を開催
楽しみに参加しています。

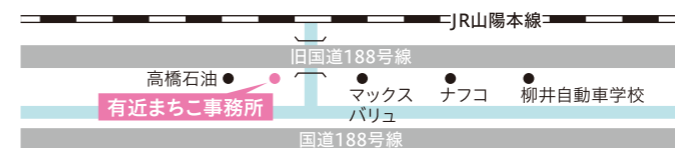
「こちやまぜ」

昨年も、多くの方々にお会いし、支えていただきました。

本当にありがとうございます。

柳井市がこれからもっと元気になるためには、市民が一丸となって力を合わせる事が重要です。私は、市民の皆さまの心に寄り添いながら、柳井市、山口県、国、関係機関などとしっかりと連携し、政策の実現、地域課題の解決に邁進してまいります。

どうぞ、これからもよろしくお願ひいたします。



11月議会の報告ミニ集会。
感染防止のため、十分な距離を保ち、二部制で実施しました。

有近まちこ事務所

〒742-0011 山口県柳井市新市沖5-20 TEL/0820-25-3910
FAX/0820-25-3950 E-mail/arichikamachiko@gmail.com



拠点施設／輪島KABULET

●高齢者サービス ●温泉 ●食事処



Before

空き家・空き店舗になっていた物件をリフォームして活用しています。



天然温泉 三ノ湯・七ノ湯 高齢者サービス



親子で楽しむ
カフェ・カブーレ

住民のためのスポーツジム
ゴツチャ!ウェルネス輪島



障がい者向け
グループホーム アサンテ

ゲストハウス
うめのみや

輪島市は海に面して、歴史と風情のある地域。柳井市とは共通点の多い市だと感じました。ここでは「ごちやませ!」のまちづくりが進んでいます。ある空き家は高齢者のデイサービス施設と温泉に生まれ変わり、近隣の人たちが観光客からも利用していました。また、別の空き家は障がい者用グループホームに変身。入居者は共同生活を営みながら、やはり空き家を活用した近隣の飲食店等でも働いています。

世代の違いや障がいの有無に関わらず多様な人々が交流し、まさに「ごちやませ!」の賑わいが実現していました。

※輪島市のこの取り組みは、まち・ひと・しごと創生本部(内閣府)による「生涯活躍のまち」先行7モデルに採択されています。

視察 行って来ました! 石川県輪島市

(例)親子キッチンカフェ



住民や観光客に食事を提供し、親子で料理体験もできます。



Before

空き家等を活かして交流施設へ



After

(例)グループホーム



障がい者が自立を目指して、共同生活をし、近隣の施設で就労体験をして、住民と交流します。

(例)温泉



住民や観光客等、多様な人々が利用して交流できる温泉です。

(例)ゲストハウス



観光客をもてなす宿泊施設。高齢者や障がい者の就労場所になります。



住民や観光客



(例)高齢者福祉施設

デイサービス等を提供し、子どもたちとの交流も図ります。

質問④

まちこが目指す“まち”は「ごちやませ!」のまちづくり

昨年8月、石川県輪島市へ行ってきました。そこで目の当たりにしたのは、空き家をリフォームした施設で、子どもから高齢者まで、障がい・疾病の有無や国籍に関わらず、多様な人々が交流し共生する姿でした。名付けて「ごちやませ!」のまちづくりです。輪島市のこの取り組みは、政府が進めている「誰もが居場所と役割を持つコミュニティづくり」のモデル事業にも選ばれています。わたしは、この「ごちやませ!」を柳井市に持って帰りたいと思いました。

柳井市にも空き家や空き店舗が年々増加しています。それらは手を加えれば、懐かしさ漂う素敵な交流の場に生まれ変わることでしょう。そして、世代の違いや障がいの有無に関わらず多様な人々が、そこで共に働き暮らす。そこには高齢者と子どもとの触れ合い、障がいのある方とない方との交流、そして住民と来街者との出会いが生まれやがて「まち」は賑わいを取り戻すはずです。

この取り組みを柳井市で推進することについて県に問いかけたところ、支援いただけるとの回答を得ています。柳井市なりの「ごちやませ!」のまちづくりを、共に進めていきたいと思います。

石川県輪島市
人口25,700人
(R2年12月)

伊藤さんには、輪島市の事例をご紹介いただきました。



伊藤明子さん(消費者庁長官)▲
前内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
地方創生総括官補

雄谷良成さん(佛子園理事長)
全国生涯活躍のまち推進協議会会長

雄谷さんは、「ごちやませ!」のまちづくりを手がけていらっしゃいます。



この区間の道路整備を要望



左図の古開作から中馬皿間は、朝夕に渋滞し大型車の通行にも支障をきたしており、市民生活や経済活動の妨げになっています。この区間の道路整備の早期実現を県に要望しました。他にも「国道188号柳井・平生バイパス」、「若国・柳井間バイパス」、「県道柳井上関線(伊保庄バイパス)」の整備や早期実現を要望しました。地域振興に欠かせない道路整備を、今後も働きかけていきます。

質問② 柳井・玖珂間バイパスの早期実現

まちこが考える、まちづくりのゾーニング



柳井市を含む全国の公共施設が老朽化しています。議論になっている柳井商業高校跡地の活用も、その解決策の一つです。そのためには次の視点が必要だと思います。

① 効率／財政負担軽減のためにコストを抑える。
② 効果／住民のニーズに合致し、地域活性化に役立つ。

これらを両立し、長期持続が可能な施設とは？

多くの人の意見を元に私が提案した一例が、複合型拠点施設です。老朽化した施設を一体化し、時代が求める機能を付加しています。

例えば体育館と文化ホールを兼ねることで、老朽化したバタフライアリーナやサンビームやないの建て替えを合わせて行えます。しかも機能の一部を共用できるため全体の面積も減り、維持管理費も削減されます。

なお、実現には複合型拠点施設と各地を結ぶバス交通網の整備は勿論、まちづくりの方向性を示した上で、市民の皆さまのご理解とご協力を得て、関係機関が連携し調整しながら進める必要があります。

質問①

持続可能な複合型拠点施設の提案

